

★歯を大切にするための情報を届けします。



健けんこう口くちニュース

じんの歯科クリニック

052-879-1818

頻繁に口の中を噛むときは、原因を調べましょう

口の中を噛んでしまうのが一時的なものであれば、特に心配することはありませんが、頻繁に噛む場合は一度歯科を受診し、原因を調べ、それに合った対処をしましょう。



口の中を噛んでしまう主な原因

噛み合わせの高さが低くなった

歯や入れ歯のすり減りで噛み合わせが低くなると、ほっぺの内側がたるみ、噛みやすくなってしまいます。また、たび重なる歯科治療で噛み合わせが低くなっていくこともあります。



被せ物や入れ歯の影響

被せ物や入れ歯を入れたばかりの頃は、慣れるまでに頬の内面や舌を噛みやすくなることがあります。大抵の場合は徐々に慣れて噛まないようになっていきます。



歯並びが悪い

歯並びがガタガタに並んでいる場合、歯並びからずれている歯が頬や舌、唇を噛みやすくなることがあります。



顎関節症

顎関節がずれてしまったり、噛む筋肉のバランスが悪いと、口の中を誤って噛むことがあります。



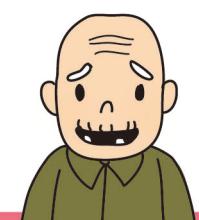
体調不良・疲れ

疲れや体調不良が原因で、口の動きのコントロールが上手く行われなくなることがあります。



加齢

加齢により頬がたるむと、内側の頬もたるんでくるので、噛みやすくなります。



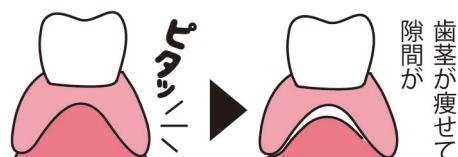
入れ歯の定期的なチェックを忘れていませんか？

合わない入れ歯、劣化した入れ歯を使っていると、口内炎や歯ぐきに傷ができ痛みを生じたり、汚れがたまりやすくなったり、残っている歯を悪くしてしまう事もあります。入れ歯も定期的にチェックを受けましょう。

入れ歯もお口の中も変化するのでチェックが必要です

お口の中の変化

歯を失った部分というのは、骨や歯茎が痩せてしまいやすい傾向があります。そうすると、もともとぴったり合っていた歯茎と入れ歯の内面に隙間が空き、合わなくなってしまします。



入れ歯の劣化

保険の入れ歯は樹脂製（プラスチック）なので劣化しやすく、使用年数が長くなるにつれ、ヒビが入ったり歯の部分がすり減って、かみ合わせが低くなってくるというような不具合が起こってきます。

